

NPO 法人ふくてっく 令和 4 年度 第 2 回理事会議事録

日時 令和 5 年 8 月 5 日（土） 10:35～ 12:15
場所 大阪市天王寺区東高津町 12-10 大阪市立社会福祉センター 第 2 会議室

式次第

出席状況報告	出席理事 小川 清水 荻田 池端 上田 岡 大塚 出席監事 秋岡 稲住 事務局長 中北清 欠席： 曾我部 杉浦
議長の選出、 開会の宣言	小川理事長を議長に選出 議長は 10 時 35 分に開会を宣言した。
書記の指名	議長は中北事務局長を書記に指名した。

【議案 1】議事録署名人の指名

池端 理事、と 上田 理事を指名

【議案 2】令和 4 年度事業報告および決算

2-1 令和 4 年度 理事長総括 各部会活動報告、同収支報告

総会議案書に沿って、理事長および各部担当幹事は令和 3 年度の活動報告および収支報告を行い、意見交換した。

2-2 令和 4 年度決算報告（中北事務局長）

議長は、令和 4 年度の決算報告（案）について、中北事務局長に説明を求めた。
中北事務局長は、予め作成した決算報告書（案）に沿って決算状況について、令和 3 年度までの多額の受取助成金がなくなり、令和 4 年度は期首にたてた収支予算どおり、多額の経常損失が発生したことを報告した。

以上、2-1、2-2 の報告を受けて議長は一同より意見を求めたところ
異議なく、これを承認した。

2-3 監事報告

議長は、秋岡監事に監査報告を求め、秋岡監事は令和 4 年度における監査を令和 5 年 8 月 5 日に実施し、法人の財産管理状況、会計状況、その他の状況について、特に問題がないことを報告した。

【議題 3】令和 5 年度 事業計画および収支予算計画（案）

3-1 各部会の令和 5 年度活動計画

議長は、各部会の令和 3 年度活動報告および同収支計画の説明を求めた。
ふくてっくのつどい
コロナも五類に位置づけられ、ようやく様々な活動の復活が期待されます。
ただ 3 年に亙るブランクも大きく、確実な実施は今後の課題となっています。
たいけん・ものしり活動では、会員親睦を目的として企画していきたい。
収支については、先方からいただける収益は基本的に会員の活動費や交通費に当てるので、材料費相当のマイナス収支となる。

りのべる部会

東大阪市での検証活動は減少傾向にあるなか、住宅改造費助成制度の対象を従前の重度身体障がい者から知的や精神にも拡大する構想がようやく今秋から始まる。ただ、どのような基準で適用の可否を判断するかが決まっていない。申請案件ごとに検討していくことになる。

令和4年度から「住宅改善サポート」を始めた。

ただ、メンバーは本業や他の部会活動も兼任しており、新たな事業拡大は難しい。R5年度は従前の活動を踏襲しつつ、ワンポイントアドバイスの活用を図る取組に注力していきたい。

収支計画については、プラスマイナスゼロとしたい。

こむねっと部会

続けて、中北事務局長は

第三者評価活動についてはコロナ渦中にあっても順調に活動展開することができたが、令和5年度には、大阪市子ども青少年局の施策により保育所の受審が急拡大することがすでに現実となっている。また、保育所については大阪市が多額の受審費用補助を行うことを追い風として、全般的に受審料の上方改訂が進みそうだ。

一方、当機関の評価体制によれば受審を受け入れることのできる限界もあり、令和5年度は、盆・正月とゴールデンウィークを除いて2週間の枠に1件の訪問調査を予定するよう計画的に受審契約を調整することとした。

評価機能のさらなる向上を目指して、特に保育部門の新たな評価調査者の増員を達成するとともに、評価調査者メンバーについて有効な研修を計画・実施する。また、中・長期計画として、組織的なマネジメント体制の確立にも着手していく必要がある。

外部連携については、コロナ禍以前からの多方面に亘るつながりは、コロナ禍の収束とともに従前のように復興できるか・すべきかを冷静に判断して、個別に対応していきたい。

また、そもそも外部連携は、こむねっと部会扱いとすること自体を見直し、事務局長として窓口は努めるものの、ふくてっく会員全体の課題と位置付けたい。

よって、令和5年度以降の部会事業計画・収支計画には計上せず、具体的な対応は、都度理事会に諮って執行したい。

また、新規構想として「空家空きビル利活用による福祉事業拠点整備支援事業」を立ち上げる。これについては、議題4で審議頂きたい。

収支計画については、約40万円の黒字を目指している。

3-2 令和5年度 収支予算計画

議長は、令和5年度の予算計画について、中北事務局長より報告を求めた。

中北事務局長は、総会議案書にそって会費収入と固定費用および各部会事業収支の計画を取りまとめて収支予算計画を作成した旨を述べ、その結果、相当なマイナス収支予測となり、その傾向はふくてっくの体制を改めない限り以降の年度にも継続するはずであることを説明した。

以上の報告を受けて議長は一同より意見を求めたところ

岡理事より、

昨年度に引き続き大きな赤字を出すことが必然となっていることは看過できない。

総会での丁寧な説明と、理事会としての見解を明確に示すべきである、と発言があった。

【議題 4】新規事業計画等について

4-1 コロナ禍収束後の外部連携について

中北事務局長は、こむねっと部会の令和5年度計画にしましたように外部連携活動については、こむねっと部会扱いを返上し、本会理事会に奉還したい旨、発言。
これについて、一同から異議は唱えられなかった。

4-2 新規事業「空家空きビルの利活用による福祉事業所整備支援」について

- ・ 事業名称案 : あおぞら福祉まちづくり

単に、空家空きビル利活用を目指すのではなく、これを通過点として

地域共生の福祉社会を構築することを目的とする意図を込めたネーミング

- ・ 運営規定（別紙）の審議

本事業の発起および運営北井（案）について審議したところ、一同これを承認。
まずは、この事業に限定してふくてっく正会員以外の活動参加を認めることとする。
なお、福祉サービス第三者評価事業についても、同様にふくてっく正会員以外の評価調査者を登録メンバーとして活動参加させる件については、まずは現在の評価調査者メンバー間のコンセンサスを得たうえで、改めて理事会承認を得ることとする。
このことについては、今後同様の構想があった場合にも準用する。

【議題 5】役員改選

続けて、議長は今年が役員改選期にあたっていることを述べ、総会に提示する案について意見を求めた。

審議の結果、全理事・監事の留任を総会に諮ることで一致した。

議長は、予定の議題について討議を終え、それぞれに決議を得たこと、ほかに発議がないことを確認して、12時15分に閉会を宣言した。

以上

議事録署名

議 長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____